

# 琉球大学学術リポジトリ

岸総理大臣第1次訪米関係一件 岸・マッカーサー  
予備会談（於東京） 第1巻

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-04-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/44167">http://hdl.handle.net/20.500.12000/44167</a>

山・マフカーサ合談

(昭三三三三三)

次頁傳

昭和六年  
三月

極秘

岸大臣マツパーサ大使会議記録

一 大臣訪米の時裁の件

三二、三、二二（塘記）

三月二十二日、岸大臣は、総理官邸に、マツパーサ

在米米大使の来訪を求め、二時十分から約二十分

間、訪米問題につき会談し七（塘通訳）。会談の

要旨は左のとおり。

大臣「先日、五月七日の訪米の招請を頂い

たが、この時機は口会開会中に在り、口外情勢

上通を下さいと思ふ。自分としては六月中旬を

<p>米例に好都合との自信はなきも。</p>	<p>米大使 — 五月末は如何。 五月末や六月初に</p>	<p>大臣 — 六月初めに以降ということはいい。</p>	<p>きんい。</p>	<p>ももう少し中へある時機、好都合を伺ひせて頂</p>	<p>大統領も種々の多忙ゆえ。 六月中旬というより</p>	<p>じ、トキヨ限りのことをしたがい、 アイセンハラア</p>	<p>米大使 — 総領の訪米は種々の存否義と存</p>	<p>米も好都合とすべし。 貴国側の好都合如何。</p>
------------------------	-------------------------------	------------------------------	-------------	------------------------------	-------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	------------------------------

大臣——六月中旬に最も好都合と言ったが、米側  
 の都合もあることゆえ、五月末にしようとも良いと思ふ  
 米大使——新聞に伝ふところでは、訪米の目的  
 は、他々の外交案件の交渉と云ふこととよく、左  
 い見地からの意見の交換と云ふことのようにだが。  
 大臣——そのとおり。日米や記者会見にそのま  
 うに言明した。他々の案件を交渉する機会は別  
 にあるから、自分は大臣高野から日米間、基本的  
 問題については米首脳と話し合ひたいと思つてゐる。

米大使 — 非常に結構と思ふ。 今日、時機のお

話、早速本日に取次ぶ。 回答あり次第即返す

す。 本日もバーニエと今談を取り込ん

かもし水子い加。

最後の、米大使より、

今日の会談、発表ぶりは何と、別添を  
し、大臣御承諾。

附記、会談直前、霞ヶラフの要請にたい、総理官野

に、大臣記者会見。 別添発表発表にたい話され、是

体的に訪米時機如何や、他の質問には答へず。

片巻 表 西女 日記

アメリカ大使の来訪を止め、一般的女子院

命いさしたか、<sup>（片巻）</sup>本年中に訪米することの可能

性についての意見の交換を行った。

(註) Later this year ... ことにより表現した。